



- 市内図書館**
- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎ 072-950-5501
 - 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎ 072-952-2750
 - 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎ 072-957-5553
 - 丹比図書館 榎山 251-1 ☎ 072-937-2355
 - 東部図書館 古市 1541-1 ☎ 072-950-2002

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

- 古市図書館 ☎ 072-958-0050 (休) 10:00 ~ 17:30
- ブックステーションはびきのコロセラム ☎ 072-937-7210 (休) 13:30 ~ 16:30

●ちびっこサロン

[日時] 5月9日(水) 10:30 ~

[場所] 森のゆうびん局 (市役所敷地内)

●蔵書点検にともなう休館のお知らせ

蔵書点検および資料の整理などのため、各図書館は次の日程で休館します。

- ・陵南の森図書館、羽曳が丘図書館の休館
5月20日(日) ~ 24日(木)、30日(水) ~ 31日(木)
- ・中央図書館、東部図書館、丹比図書館の休館
5月25日(金) ~ 31日(木)
- ・古市図書館の休館
5月30日(水) ~ 31日(木)

●5月のおはなし会

中央図書館	6日(日)、13日(日)、20日(日)	13:30 ~
陵南の森図書館	6日(日)、13日(日)、27日(日)	11:00 ~
	19日(土)	15:00 ~
東部図書館	9日(水)	10:30 ~
古市図書館	19日(土)	15:00 ~
丹比図書館	26日(土)	10:30 ~
羽曳が丘図書館	12日(土)、26日(土)	15:00 ~

●おはなしボランティア入門講座

[日時] 5月17日(木)、31日(木)、

6月7日(木)、21日(木)

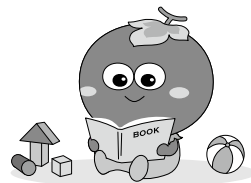
10:00 ~ 12:00

[場所] 中央図書館 会議室

[講師] 岸下 良子(おはなしボランティアグループ「はびきの」)
桑原 絵理子(劇団大阪 豊麗線)

[定員] 15人 (先着順)

[申込] 5月2日(水) 10:00 ~ 中央図書館にて受付
(電話可、☎ 072-950-5501)



読んでみませんか?

『伴走者』

あそろ かつむ 浅生 暢 / 著
講談社

視覚障害のある選手をサポートしつつ、2人でゴールを目指す伴走者。記録には残らない彼らの活躍を描いた、夏のマラソン編・冬のスキー編の2つの物語です。



『世界一おもしろい国旗の本』

ロバート・G・フレッソン / 作・絵
小林 玲子 / 訳
河出書房新社

「正方形の国旗があるのはどの国?」「どうしてよく似た国旗が多いの?」一枚の旗にこめられた意味や歴史をたどり、世界の国々をめぐる旅に出てみませんか。



アラダボール

学校現場では、子どもたちからポロっとこぼれ出てくる素敵な言葉に、人生のすばらしさを感じることはありません。家庭でかけられるたたくさんの言葉のうち、子どもたちの胸の底にたまった言葉(短作文)を二つ、本人の了解の上で、紹介します。

●『孫からもらったお守りは?』

これは私のお父さんから聞いた話です。この前、おばあちゃんは手術をしました。私はおばあちゃんが入院するとき、お守りをつくってわたしました。おばあちゃんは毎日まくらの下において寝たりして、すごく大切にしてくれました。手術室に入る時、持って入ってはいけないうちに、おばあちゃんは「持っていく」と聞かなかったそうです。手術は無事に

終わりで、看護師さんが「〇〇さん」と呼ぶと、おばあちゃんは起きて、目が覚めて開口一番の言葉が、「孫からもらったお守りは?」だったそうです。それをお父さんから聞いた時、私は本当にうれしかったです。初めて、人から言われた言葉に感動しました。元気になったおばあちゃんに早く会いたいです。

●『ひとの心の痛みをわかるおとなになってほしい』

小学生の時に「2分の1成人式」というのがあって、その時のためにお父さん、お母さんに手紙を書いてもらいました。その手紙の内容の一部で、お父さんが書いてくれた言葉が、心に残っています。この手紙はその時の担任の先生が読んでくれました。これは十歳のときで、言葉の意味までは考えていませんでした。

今は、すごく深いことを教えてくれる言葉だなと思います。しかし、「ひとの心の痛みをわかるおとなに」と言われても、そんなにすぐにはできないとも思います。実際のわたしは、ちょっと腹が立つと相手のことなど考えずに、ばーっと言ってしまうこともあります。言ってしまった後に、言わなければよかったとすることが多いので、この言葉を思い出してどきっとします。

ひとの心は、身近な人からの言葉で支えられ、育っていくものであることを教えてくれます。つながりの中で生きていく、そのつながりをまわす、おとなから紡ぎだすことができれば素晴らしいことです。

はびきの しじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会